

令和6年度 ご挨拶

広南中学校のホームページをご覧いただき、ありがとうございます。

広南中学校校長の坪浦敏美です。本校赴任3年目に入りました。この2年間、これまで築きあげられた本校の伝統を受け継ぐとともに、新たな挑戦を積み重ね、更なる発展に向けて取り組んでまいりました。今年度も様々な取組を進めていこうと考えています。引き続き、ご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

今から12年前の平成24年4月、小坪小学校と長浜小学校が統合され広南小学校となり、長浜中学校も広南中学校と校名を改めました。この時、施設一体型小中一貫教育校「広南学園」(広南小学校・広南中学校)が誕生しました。本校の校訓は、長浜中学校時代から受け継いでいる「不かく 尋ね たかく志す」です。広南中学校になった現在も、この校訓を「『不』の理由を深く探求し、それをくつがえす新しい価値をつくりだす高い志をもつ」と解釈し、本校教育の基盤としています。

また、本校は、10年前から、「温故挑新」という合い言葉のもと、総合的な学習の時間で、「故里を温め、常に新しいものを協働して作り出す」ことに挑戦しています。具体的には、第1学年は、「落語」を通して自分の中に新しい価値を生み出す経験を、第2学年は、「起業」を通して協働して会社を創る経験を、そして第3学年は、「未来貢献」をテーマに創作劇をつくり10月の「広南劇場」で披露する経験を、それぞれ行います。昨年度は、郷土の偉人、采谷義秋さんを主人公にしたミュージカル風の創作劇を披露しました。このように、学校が地域の文化の拠点となり「地域の活性化にどれだけ貢献できるか」に挑戦しています。これらの挑戦を積むことにより、本校生徒が、将来、どんな困難に出会っても、決して逃げたり諦めたりせず、困難を乗り越えながら自分の未来を自分で創っていくための原動力を身に付けることができる、と私たちは考えています。

これまでの成果と伝統を踏まえ、広南学園(広南小学校・広南中学校)の教育目標を「未来を創る」としています。

今年度も、『誇りをもって故里を語り、受け継ぎ、発展を担う「志」と「力」を育てる教育』を創造していきたい、と考えています。皆様のご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

呉市立広南中学校長 坪浦 敏美